

野蒜復興新聞

二十五年度スケジューリング確認

高台移転部会

4月13日、25年度の第一回高台移転部会を開催しました。主な協議内容は今年度の進め方とスケジュールです。新しい集団移転先へ住宅を建設する方々の画地決め抽選の時期をいつにすべきかについて、3つの案を検討しました。

1つ目は、早さのみに重視した選択で、見直しのための「基本設計」をせずに進める方法で今年の8月過ぎに抽選を実施する案です。早いという利点がある一方で、後で一部の画地が確保できなくなる可能性がありま

す。2つ目は、バランスを重視した選択で、見直しのための「基本設計」を実施すること、さらに工事をするための設計をし、電柱の位置など、具体的な図面を固めた後で26年度10月過ぎに抽選を実施する案です。具体的な図面をもとに抽選することができま



野蒜地区復興協議会-高台移転部会-和泉部会長の進行のもと25年度の進め方を協議(野蒜市民センター)



地盤改良工事が進む野蒜地区北部丘陵地区

見、具体性を重視する意見などそれぞれ聞かれ、次回の部会でさらに検討していくことになりました。

また3月の高台移転全体会で説明があった、野蒜地区北部丘陵地区の工事工程等の変更により、近日中に再度高台移転希望者(防集希望世帯)へ「まちづくりアンケート調査」を実施することでまとまりました。このたびは移転エリアの決定、並び画地を希望する世帯の把握、建物利用意向の把握、並び画地等の意向確認を実施し、抽選の準備を進めます。

高台模型展示中 野蒜亀岡 JV 事務所内



住宅地、都市運営施設、商業地、学校施設等の計画予定地が表示されてある野蒜北部丘陵地区模型

先日、亀岡東地区にあるJV事務所（ジョイントベンチャー）内に、集団移転が計画されている野蒜北部丘陵地区の高台移転先模型が展示されました。集団移転先の詳細な画地までは表示されていませんが、商業予定地などの大きなエリアが把握できます。JV事務所内に事前に連絡を入れれば展示してある模型図を観覧することもできます（JV事務所0225・86・1020可能な限りまとまった視察をお願いします）。

高台移転部会の協議の場では紙面でしか示されていない集団移転先の計画図を、より具体的にイメージできる材料となり、関係者からは多くの人に観覧してもらい、集団移転先の画地決定に役立ててもらいたいということでした。先日の高台移転部会後には部会員と関係者でこの模型図を視察しました。

また高台移転部会では25年度10月頃に第2回目の野蒜北部丘陵地区の現場視察を予定しています。この時期にはベルトコンベアと破砕機設置工事、防災施設工事などが進捗し、その後土木工事が本格化する時期であり、この節目を利用した現場視察です。

そして25年度の高台移転部会は月1回程度の開催を基本としますが、検討テーマによっては2、3回実施することも予定しています。検討内容は「移転に係る意向確認（郵送でアンケートの実施）」、「まちづくりルールの検討（新しいまちなみや景観の形成について）」、「画地決め抽選の実施（24年度に検討したルールを基本に）」、「広報誌の発行（高台移転に特化した情報誌を年4回発行）」等を実施していきます。

(新)東名駅～(新)野蒜駅 2015年中復旧目指す



仙石線移設復旧工事の概要についてJRから説明を受ける（野蒜市民センター）

4月7日「野蒜まちづくり協議会定期総会」が開催され、その中でJR東日本職員らから、仙石線移設復旧工事の概要についてスクリーンを利用しての説明がありました。仙石線の陸前大塚駅～陸前小野駅の約3.5km区間を、山側にルートを移設して復旧する工事で、平成27年中の復旧完了を目指して工事を進め、作業時間は原則朝8時～18時、日曜日のみ休日で、作業の進捗や状況により変更する場合があります。

また工事は2カ所で分かれ、東名工区においては鹿島建設が、野蒜工区においては鉄建建設が施工を担当することなど、それぞれ担当職員が参加し、挨拶をいただきました。また工事中の間に10トンダンプの大型車両が一日約百台程度通行予定ですが、制限速度を遵守し、極力朝夕の通勤時間帯を避け、決められた経路を走行し、深夜作業は原則行わず、振動と騒音を可能な限り抑制に努めて実施していきます。また工事に伴い片側交互通行や通行止めなどの交通規制が発生するが、一日も早い仙石線の復旧に向けて安全第一で工事を進めていくので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。うお話をいただきました。